

西部校だより 4月② Phoenix

職員紹介

遅くなりましたが平成29年度の本校職員を紹介いたします。21日(金)に撮影しました。前列左から、岩本 裕美(そよかぜ)、松岡 真理子(1・2年)、田中 正典(教頭)、米村 雄二(校長)、林 秀行(5・6年)、西嶋 明子(3・4年)、後列左から、堀 史佳(養護)、志垣 誠(事務主任)、迫田 美恵子(庁務手)、山口 純子(給食事務)、満潮 貴代(給食調理)、田中 嘉子(給食調理)、江尻 早苗(学校図書館支援員、東陽小と兼務、主に水曜と金曜に来校)です。



なお、この写真に写っていない職員として、ジョシュア・アンダーソン(ALT、毎月3、4回来校)がいますので総勢14名になる日もあります。

全職員一丸となって頑張りますので、平成29年度も一年間なにとぞよろしくお願い申し上げます。

ミニ集会

19日(水)本年度初のミニ集会がありました。水曜日は掃除をしないので、2週間に1回その時間を利用して短時間の集会をします。第1回は各委員会からの目標の発表でした。児童会は学校の中での子どもたちの、いわゆる『住民自治』に当たります。集団の活性化に直結しますし、子どもたちの将来の役にも立ちます。自分たちのために力を合わせて、楽しくてためになる学校を創ってほしいと思います。



通学路点検

26日(水)に実施しました。雨が激しく降るとの予報が出ていましたが、

そんな日でも子どもたちは帰宅しなければなりません。むしろ危険把握には適していますので予定通り実施しました。芝口方面の危険性は相変わらずです。横江大橋の仮橋の完成後、交通の流れがどうなるのか予断を許さない状況です。私は今年、野崎の中を下り、砂原・新出を回ってみました。整備事業で新しい排水機場を造るためにしばしば大型車が通ることや直線道路で速度を落とさない車が走ること、水路側にガードレールがないところが多いことなど危険がいっぱいなことを実感しました。くれぐれも用



心して登下校してほしいと思います。文責米村